

| △区域メッセージ (第 40 週) 過去、現在、未来との疎通と 25 の答え (使 18:1-4, ロマ 16:1-27) | △聖日 1 部礼拝 世界中に証される福音 (コロ 1:1-8) | △聖日 2 部礼拝 天の下のすべてに宣べ伝えられる福音 (コロ 1:9-23) |
|--|--|--|
| <p>使 18:1-4 (一生)、ロマ 16:1-27 (永遠) 神様は一生の答えを置いて私たちを導き、永遠のことに結びつけて見ておられる。それゆえ、私たちの過去、現在、未来はとても重要だ。</p> <p>□序論 神様の先入観- (先入見) 私たちは先入観を持って判断して、選択する。先入観は、先に私の中に入っている見解だ。あるときは、これが問題になって、先入観以上のことを見るができない。それゆえ、私たちは「神様の先入観 View of God」を持っていなければならない。神様は、私たちの未来を世界福音化の祝福で味わうように祝福しておられる。ある人を見る時も、神様はその人を祝福することを願われる。さらに、誤っている人も変化させて、神様の祝福を受けることを願っておられる。これが神様の先入観なので、それを持って過去、現在、未来を見なければならない。レムナントを教えるときも、私の水準で教えてはいけけない。神様は問題の中でも私たちに重要な計画を持っておられる。</p> <p>□本論 1. 神様の先入観は、私たちの過去が傷でなく土台になることだ。 1) 私たちは、ともすると創 3・6・11 章に陥る。 2) 傷 私中心に考えて、隠れた背景である創 3・6・11 章にひっかかる。結局、傷だけが残る。 3) サタンは家系を狙う。 2. 私たちの今日は過去と未来、永遠のことがすべて入っている。 1) 問題は心配の種でなく、答えを見つけるための神様の計画だ。 2) 葛藤は、神様が私たちを一段階上げようとする更新の祝福をさける今日だ。 3) 危機は機会を与える神様の驚くべき祝福だ。 3. 私たちの未来は神様の御座の祝福を味わうのだ。 1) 神の国が私に臨んだのが未来だ。 2) 神の国のことが成されたのだ。 3) 御座化の祝福を受けるのだ。福音を味わうには福音化されなければならない。世界を生かそうとするなら私が世界化にならなければならない。御座の祝福を他の人に伝達するには、私が御座化されるのだ。</p> <p>□結論 同時 栄光 私たちは永遠の前から永遠まで、神様の時刻表を置いて過去、現在、未来を同時に見るべきだ。一つの人生の映画を撮ると考えれば良い。映画を見るのに、スリルもなくて、危機もなければつまらない。必ず神様は私たちを通じて神様の栄光を現わされるのだ。神様の先入観ですべてのことを見なさい。</p> | <p>□序論_まず先に知ること三つ ※神様が最初から最後まで約束された世界福音化が私と合うとき、働きが起こる。(マタ 6:33、創 12:1-3、22:18、マタ 28:18-20、マコ 16:15-20、使 1:8) すると先に知ること三つがある。 1. 次世代が減ぼされる理由-世界化にならなかったため 2. わざわいが来る理由-福音化にならなかったため 3. 戦争が起こる理由-間違った 237 運動する人のため □本論_初代教会が世界福音化した奥義 1. 世界中を生かせるほどの神様から与えられた契約が刻印された 1) カルバリの丘の契約-皆さんの呪いを完了して下さった 2) オリーブ山の契約-まことの始まり 3) マルコの屋上の部屋契約-まことの力 △これが刻印された人々だ。できるしかない。皆さんが本当に次世代と多くの世界化を成し遂げるために祈らなければならない。他のことはすべてついてくる。 2. 世界中という 237 の実際の答えが祈りで根をおろした 1) 237 を動かすパウロを砕かれたキリスト 2) アンティオキア教会を準備された神様 3) パウロが行く所ごとに世界中を味わう人々が準備されていた 3. 世界中を味わうことが体質となった 1) オネシモを受け入れてコロサイ教会の監督として立てたピレモン 2) 聖書の約束 (1) あらゆる国の人々に行きなさい。天と地の権威を持ってわたしがあなたといつもともにいる。 (2) すべての民に行きなさい。御座であなたとともにいる。 (3) 地の果てまで行きなさい。ただ聖霊の力で行くことができる。 ※祈り一つで可能だ。福音をわかる分、祈りがわかる。祈りがわかる分、力ができる。力がある分、変化させる。 3) 三つの庭を作りなさい。文化空間を作りなさい。外国人を呼ぶミッションホームをしなさい。神様が最も願われること。全世界の次世代を生かす道。ここに 237、癒やし、サミットを作りなさい。ここに文化空間を作りなさい。そして、来年から 14 か国の南太平洋大統領から招くだろう。</p> <p>□結論_世界中の暗闇を防いで彼らを救い出す祈り 1. あなたがたのために祈るときいつも神様に感謝する (3 節) 2. 天に蓄えている望み (5 節) 3. 神の恵みを悟る日から、世界中で実を結び始めた (6 節) -世界中という実を見るならば、話さなくても、すべてことを皆与えられる (マタ 6:33)</p> | <p>世界中 (237)、天の下のすべて (5,000) なぜ私がこの教会に通うのか見つけ出さなければならない。1 部の時「世界中」を 237 と書いた。2 部には「天の下のすべて」これが 5,000 種族だ。これにいのちをかけてする教会だ。 □序論_私と合うのか確認するいくつかのこと 1. マタ 28:16-20、マコ 16:15-20、使 1:8 あなたがたは行ってあらゆる国の人々を弟子としなさい。ここに関連性がなければならない。すべての民に行きなさい。地の果てまで行きなさい。 2. 私は世界福音化の中にいるのか。私は世界福音化する教会にいるのか。次世代問題と関係がある。パリサイ教会は世界福音化と関係なかったために、70-1948 年の間、次世代が散らされた。この中に世界福音化する人がいたためだ。 △福音の光が照らされなければ全世界がわざわざに陥って死ぬ。 3. 強大国は 5,000 種族の人を引っ張って行った。 1) 奴隷にしたり 2) 売買した。ここに隠された宝がある。 △私たちはここにいけない。それゆえ、道は一つだけだ。 5000 種族の 1. 人材を招いて 2. 訓練させて 3. 派遣するのだ。 □本論_彼らを招いて教える内容 1. キリスト 1) 旧約時代に預言-女の子孫が蛇の頭を破った (創 3:15)。イエス・キリストがサタンの権威をたたき壊した。血のいけにえをささげるとき、解放された (出 3:18)。運命が変わらなければならない。その名がインマヌエル (イザ 7:14、マタ 1:23)、あなたは生ける神の子キリストです。(マタ 16:16) 2) 三つの祭り、カル・オリ・マル、1・3・8 キリスト、神の国、しかし (ただ) 聖霊 3) 13-21 節-暗闇から救い出した (13)。先に生まれた方 (15)。万物が御子によって (16)。万物を和解させてこの祝福を伝えるようにするため (20-23) 2. 教会 1) 祈りの疎通が成り立つ所 (9) 2) 栄光の力 (11) 3) 光の中にある相続 (12-13) △5000 種族の人々が帰って正しい教会を建てて世界福音化するようにさせなければならない。 3. 回復すること 1) ヨセフとモーセにあったエジプトの奇跡 2) バビロン 3) ローマにあった祝福を回復するようにさせなさい。 □結論_暗闇経済 △今でも福音がない悪い強大国が 5,000 種族に暗闇経済運動をしている 1. 次世代を生かして、彼らが自ら起きて伝道運動することができるように。そうすれば、神様が光の経済を回復させられる。 2. 次世代が起きれば RT 経済が起きる。 3. 来年には南太平洋 14 か国から人材、次世代を呼んで訓練させなければならない。</p> |